

# 連動スタンション 施工要領



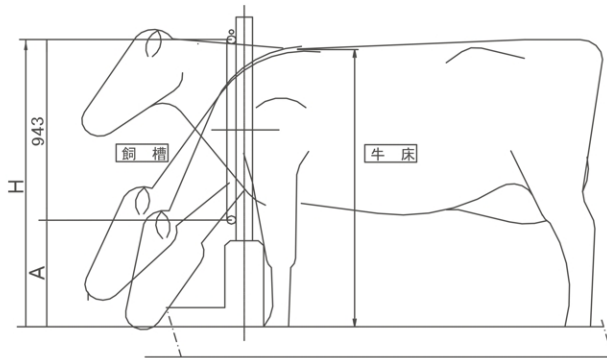
## 1. 支柱と連動スタンション施工高さ

A. 柱間隔により以下の柱サイズを推奨しております

柱間隔(mm)	支柱サイズ	
	丸パイプ	角パイプ、木、H鋼
2,700	50A以上 (φ 60.5×3.8t)	60mm角以上
3,600	65A以上 (φ 76.3×4.2t)	75mm角以上

※: 柱間隔が3,000mm以上の場合、アオリ止め金具を1カ所以上取り付けてください

B. 連動スタンションの施工高さは牛の体格によって決まります。牛の体格は実測が確実ですが、月齢による基準寸法を参考に施工寸法を決定してください。



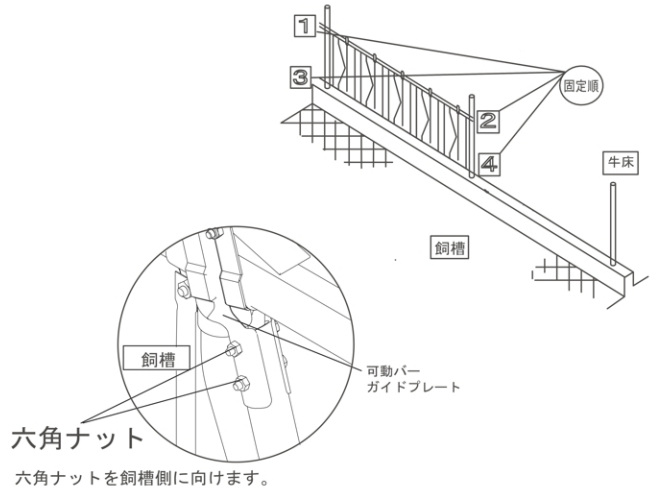
月齢(ヵ月)	A (mm)	H (mm)
20~	560	1,500
16~20	460	1,490
9~16	410	1,440
~9	380	1,320

## 2. 墨だし、金具取付

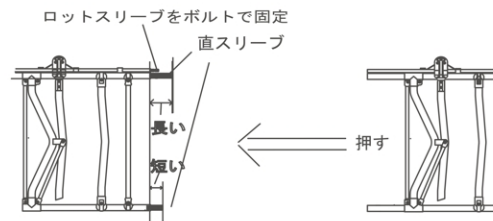
連動スタンションを取り付けるための位置出しを行い、金具を取り付けます。  
※弊社では、柱種類・サイズに合わせた金具を用意しております。

## 3. 連動スタンション取付

金具に連動スタンションを載せ上下横柵を飼槽側に固定します。下図1, 2, 3, 4の順で固定します。



※2枠以上連結する場合、直スリーブ、ロットスリーブを差し込み隙間が無いように連結します。

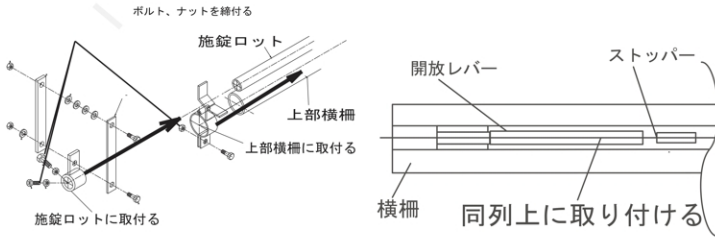


#### 4. オプション品の取付

必要に応じて開放レバーなどのオプション品を取り付けます。

##### 開放レバー

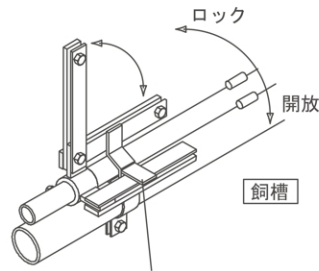
施錠ロットと横柵に取り付けます。  
上から見てレバーとストッパーを同列上に取り付けます。



#### 5. 調整

開放レバーや連動スタンションの開閉を調整します。

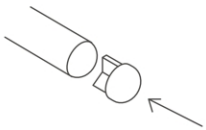
レバーを下図開放に回すとロックが解除され可動バーが開放します。この時、開放されない可動バーはナットを緩め調整します。



ロックはこの面で受ける。  
平板の間には入れない。

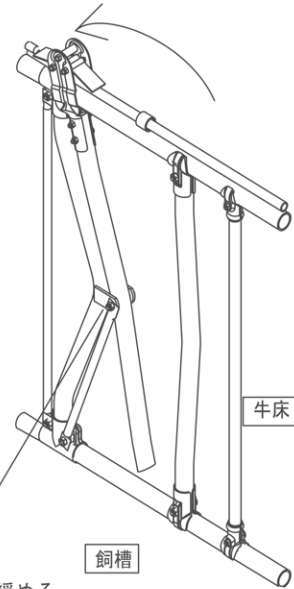
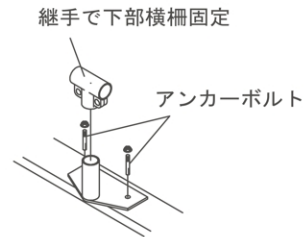
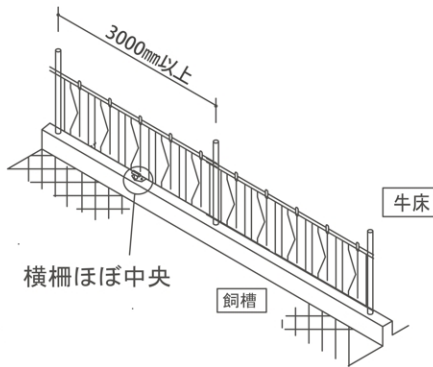
##### 打込キャップ

連動スタンションの上下横柵両端にキャップを打ち込みます。



##### アオリ止め金具

1枠3,000mm以上の連動スタンションは、アオリ防止金具の取り付けを推奨しております。



施工完了です。

改良その他の理由により、構造の一部を予告なく変更することがあります。

#### ■ 販売元

#### ■ 製造元



株式会社 土谷製作所



【本社・工場・札幌営業所】  
〒065-0042 北海道札幌市東区本町2条10丁目2番35号 tel.011-781-5883 fax.011-783-7107  
【中標津サービスセンター】  
〒086-1007 北海道標津郡中標津町東7条南6丁目 tel.0153-72-3853 fax.0153-73-4086  
【大樹営業所】  
〒089-2147 北海道広尾郡大樹町鏡町33番地8 tel.01558-6-3635 fax.01558-6-4578  
【土幌営業所（とちテクニカルセンター）】  
〒080-1200 北海道河東郡土幌町宇土幌西1線167番地9 tel.01564-5-4711 fax.01564-5-4663